

おいしいおにぎり

上山小がっこう 一ねん 村田 けい

ぼくは、おにぎりがだいすきです。

さんかくで、ほかほかしていて、あまいに

おいをかぐとたべたくなります。ピカピカ

れいにひかっているおにぎりをみると、おに

ぎりともだちになっ、て、どうしてそんなに

おいしいのかきいてみたくなります。

「どうしてそんなにおいしいの？」

「きれいなみずと、たっ、ぶりのえいよう、

キラキラのたいようとやさしいのうがさんた

ちにそだてられたからだよ。」

「おこめができるまでにじかんがどれくら

いかるの？」

「一ねんくらいかかるよ。」

「おいしいくなるために、のうがさんたちが

がんばってそだててくれてるんだね。ぼく

がぜんぶたべるから、げんきモリモリにそだ

ってね。」

ぼくは、おにぎりとおはなししているところ

をそうぞうしてうれしくなりました。
のうがさん、はいたつがさん、おこめをか
つてくれるおとうさん、おにぎりをつくって
くれるおかあさん、いつもありがとうございます。これ
からもおにぎりをたくさんたべておおきくな
ります。